

[発行日]=1999年10月26日

[本文]

時間割り：上

授業も平常に戻ったようだ。とはいっても毎週、次から次に催し物があるのだが、現在の私の時間割りはというと……。

早朝七時ごろにはシャワーの音がする。七時半から朝食である。

月曜日の朝は八時半から、全校集会がある。三十分ほど、校長やその他の人たちが、その週の催し物の情報などを伝える。この日は普段は顔を見ない人たち、車で二十分ほど離れた街にある分校(芸術学校)の生徒や、ティダホルムにあるリトグラフィスクールの生徒たちもやって来て、絵画、フランス語、イタリア語、その他のプログラムを一緒に受ける。ランチの時は長い行列ができる。

九時から、スベンスカ(スウェーデン文学)、十時から三十分間、カフェ。城のサロンには、小さなパンやケーキなどが並ぶ。

十時半から、カルチャー(スウェーデン文化)。これは、かなり実践的なもので、二、三人ずつ組んで、テーマにそって街でインタビューなどして、集めた情報を整理、発表するというような授業である。

正午から一時まで、ランチタイム。一日で一番手の込んだ料理が並ぶ。

一時から二時半まで、コンピューター。スベンスカ、カルチャー、コンピューターの三つはスウェーデン語の洪水で、私は溺死(できし)寸前である。他のプログラムに替えたいと思案中なのだが、二週あとのカルチャーでは、クラスの皆に、日本の習字を教えることになっているし、コンピューターも機械の操作自体は面白いので、これがせめて英語だったらと、泣きたい気持ちである。日本から持参したソフトも、学校のコンピューターが古いので、役に立たない。

二時五十分から四時二十分まで、クロッキー。モデルを使って、一分、五分、という短い時間のポーズとの格闘技である。

四時半から五時半まで、軽い夕食。晩飯が早いので、夜九時ごろには腹がへる。いくらかの食料は確保しておく必要がある。各階に台所がある。

火曜日。朝八時半からコース別のミーティングがある。私の場合はセラミックなので、手工芸コース、つまりテキスタイル(織物・染色)、シルバー(銀細工)、フォト(写真)の四つのコースの者たちが集まる。スペインに行ったグループである。

他のコースには、手話、リトグラフ(石版画)、インフォメーション、一般教養などがある。分校の生徒は月曜日以外は来ない。

九時から午後の三時、四時ごろまで、週替わりで、絵画か写真が一日中通してある。絵画は今のところ、実に技術的なことを、とことん叩（たた）き込まれて、いささかうんざりしている。写真は大好きである。好きなようにやらしてくれるので、一日中暗室にいても足りない。いずれ、自分の家にも暗室が欲しいと思っているくらいである。